

【電気設備のメンテナンスは昭和電機へ】



電気通信

2020年9月号！

SHOWA
昭和電機株式会社

受変電設備・分電盤の 突発トラブル防止 & 定期メンテナンス



故障したら電気が流れなくなり大規模トラブルに！

受変電設備・分電盤は工場全体に電気を行き渡らせる中で欠かすことができないものです。しかし、その多くは過去に設置されたままの状態での運用されていたり、保安点検で指摘を受けているにも関わらず、そのまま使い続けていたり、故障が発生し大きな損害が出てから交換されることが多くあります。また、工場の稼働状況の変化によって、容量が足りずに稼働に制限が生まれている場合や、更には現在使用していない状況が放置されており漏電リスクになっているものなど、見かけることもあります。工場運営に合わせて適宜見直すこと、交換推奨年を目安に部品交換や定期的にメンテナンスをすることが安定操業の上で重要です。

各機器の交換推奨年・寿命を要チェック！

この時期が来たら交換タイミングです！

受変電設備		分電盤			
機器名称	交換推奨年	機器名称	交換推奨年		
変圧器	20年	電力フューズ	15年	リミッター（サービブレーカー）	10年～15年
遮断器・断路器	20年	V T / C T	15年	主幹ブレーカー（漏電ブレーカー）	10年～15年
高圧交流負荷開閉器	15年	避雷器	15年	分岐ブレーカー（過電流遮断器）	10年～15年
コンデンサ	15年	高圧ケーブル	15年	—	—

電気設備のメンテナンスなら昭和電機へ！

昭和電機のHPIは↓↓からチェック
<http://www.showaelc.co.jp/>

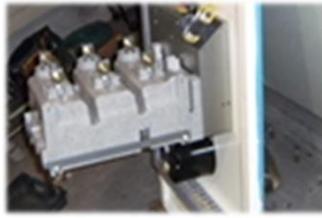
＜担当＞
五十部(イソベ)

SHOWA
昭和電機株式会社

受変電設備・分電盤の老朽化による メンテナンス・工事はお任せください！



変圧器(トランス)



VCB(遮断器)



断路器



負荷開閉器



コンデンサ



ヒューズ



VT/CY (計器用変成器)



高圧ケーブル



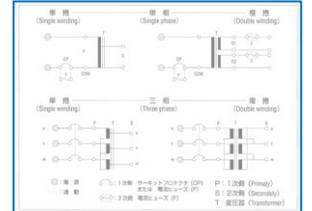
分電盤



ブレーカー



キュービクル



結線図作成

PCB含有設備の処理&更新のご相談もお任せください！

高濃度PCB含有設備の処理期限

昭和52年3月以前までに建築された
建物内の蛍光灯器具の安定器



処理期限
2022年3月31日



コンデンサー

昭和28年～47年に製造された
高圧変圧器・コンデンサ



処理期限
2022年3月31日



受変電設備・分電盤のメンテナンス・工事のご相談は、
以下を記入の上、FAXにてご返信いただくかお電話ください！

FAXでご返送ください

◆◆◆ お客様お問い合わせ記入欄 ◆◆◆

今回の記事内容に関しまして、ご質問・ご不明な点などございましたら
下記ご記入の上、FAXして頂くか、電話にてお問い合わせ下さい。

- 受変電設備・分電盤の老朽化について相談したい！
- 受変電設備・分電盤について現場を見てほしい！

お名前 _____

貴社名 _____

ご住所 〒 _____

電話番号 _____

〒327-0837 栃木県佐野市植野町1858 TEL:0283-22-3166 FAX:0283-23-2131

昭和電機のHPはコチラから ⇒ <http://www.showaelc.co.jp/>

担当者:五十部(イソベ)